

事例 14 ガス会社による分収造林制度を活用した森林づくり活動

(近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署)



- 広島県神石郡(じんせきぐん)神石高原町(じんせきこうげんちょう)星居山(ほしのこやま)国有林
- (左) 除幕式の様子 (右) 少花粉ヒノキの植栽の様子

広島北部森林管理署では、広島ガス株式会社が掲げる二酸化炭素の吸収・貯蔵や里山再生、林業振興による中山間地活性化への貢献等の社会貢献活動に対し、分収造林制度を活用して管内の国有林野をフィールドとして提供し、同社が行う森林づくり活動を推進しています。

令和2年度は同社との間で分収造林契約を締結し、森林づくり活動に取り組むに当たって必要となる施業の内容を丁寧に説明するとともに、自然条件等を考慮した植栽樹種のアドバイスを行うなどの技術支援を行いました。

当該分収造林地約9haには、花粉の少ないヒノキ苗木約2万2千本が植栽され、同社が地元森林組合と連携して保育等を行っており、同署においても、技術支援を継続することとしています。